

## 第3章 第2期計画の実施状況及び本村の課題

### 1 第2期計画の実施状況

#### (1) 教育・保育の実施状況

年度	項目	1号認定	2号認定	3号認定		
				0歳	1・2歳	合計
令和2年度	計画	12人	155人	23人	99人	122人
	実績	12人	167人	4人	81人	85人
	差異(実績-計画)	0人	12人	▲19人	▲18人	▲37人

令和3年度	計画	12人	152人	23人	113人	136人
	実績	14人	158人	4人	81人	85人
	差異(実績-計画)	2人	6人	▲19人	▲32人	▲51人

令和4年度	計画	15人	186人	22人	93人	115人
	実績	7人	171人	12人	68人	80人
	差異(実績-計画)	▲8人	▲15人	▲10人	▲25人	▲35人

令和5年度	計画	16人	203人	21人	90人	111人
	実績	7人	143人	4人	101人	105人
	差異(実績-計画)	▲9人	▲60人	▲17人	11人	▲6人

令和6年度	計画	17人	216人	20人	87人	107人
	実績	7人	164人	14人	103人	117人
	差異(実績-計画)	▲10人	▲52人	▲6人	16人	10人

※実績は各年度4月1日現在の認定者数

※1号認定：定期的な保育の必要がなく、教育のみを希望する3歳から小学校入学前までの子ども

※2号認定：保育が必要な要件に該当し、定期的な保育を希望する、3歳から小学校入学前の子ども

※3号認定：保育が必要な要件に該当する、0歳から2歳までの子ども

(2) 地域子ども・子育て支援事業の実施状況

① 利用者支援事業

【基本型・特定型】

実施箇所数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計 画	0 箇所	0 箇所	0 箇所	0 箇所
実 績	0 箇所	0 箇所	0 箇所	0 箇所

【母子保健型】

実施箇所数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計 画	0 箇所	0 箇所	0 箇所	0 箇所
実 績	1 箇所	1 箇所	1 箇所	1 箇所

② 地域子育て支援拠点事業

月間延べ回数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計 画	223 人回	246 人回	211 人回	198 人回
実 績	113 人回	405 人回	221 人回	300 人回
差異（実績-計画）	▲110 人回	159 人回	10 人回	102 人回

実施箇所	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実 績	1 箇所	1 箇所	1 箇所	1 箇所

③ 妊婦健康診査事業

年間実人数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計 画	111 人	118 人	125 人	131 人
実 績	89 人	71 人	76 人	75 人
差異（実績-計画）	▲22 人	▲47 人	▲49 人	▲56 人

④ 乳児家庭全戸訪問事業

年間実人数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計 画	60人	58人	57人	55人
実 績	57人	63人	50人	63人
差異（実績-計画）	▲3人	5人	▲7人	8人

⑤ 養育支援訪問事業

年間実人数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計 画	-人	-人	-人	-人
実 績	0人	0人	0人	0人
差異（実績-計画）	0人	0人	0人	0人

実施箇所	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実 績	0か所	0か所	0か所	0か所

⑥ 子育て短期支援事業

年間延べ人数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計 画	13人日	14人日	14人日	14人日
実 績	0人日	0人日	0人日	0人日
差異（実績-計画）	▲13人日	▲14人日	▲14人日	▲14人日

⑦ 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）

年間延べ人数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計 画	3人日	3人日	3人日	3人日
実 績	0人日	0人日	15人日	22人日
差異（実績-計画）	▲3人日	▲3人日	12人日	19人日

⑧ 一時預かり事業

【幼稚園型】

年間延べ人数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画（1号認定）	0人日	0人日	0人日	0人日
計画（2号認定）	0人日	0人日	0人日	0人日
実績（1号認定）	0人日	0人日	0人日	0人日
実績（2号認定）	0人日	0人日	0人日	0人日
差異（実績-見込み）	0人日	0人日	0人日	0人日

【幼稚園型以外】

年間延べ人数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計 画	147人日	144人日	176人日	193人日
実 績	449人日	138人日	285人日	225人日
差異（実績-見込み）	302人日	▲6人日	109人日	32人日

実施箇所	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実 績	1か所	1か所	1か所	1か所

⑨ 延長保育事業

年間実人数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計 画	30人	30人	30人	30人
実 績	実施無し	52人	65人	88人
差異（実績-計画）	-人	22人	35人	58人

実施箇所	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実 績	0か所	3か所	3か所	3か所

⑩ 病児保育事業

年間延べ人数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計 画	227 人日	237 人日	243 人日	251 人日
実 績	0 人日	0 人日	0 人日	0 人日
差異（実績-計画）	▲227 人日	▲237 人日	▲243 人日	▲251 人日

実施箇所	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実 績	0 か所	0 か所	0 か所	0 か所

⑪ 放課後児童健全育成事業

年間実人数		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計 画	1年生	40 人	40 人	40 人	40 人
	2年生	40 人	40 人	40 人	40 人
	3年生	40 人	40 人	40 人	40 人
	4年生	10 人	10 人	10 人	10 人
	5年生	10 人	10 人	10 人	10 人
	6年生	10 人	10 人	10 人	10 人
	合計	150 人	150 人	150 人	150 人
実 績	1年生	16 人	38 人	29 人	30 人
	2年生	23 人	33 人	40 人	33 人
	3年生	26 人	37 人	34 人	35 人
	4年生	12 人	27 人	26 人	28 人
	5年生	9 人	15 人	19 人	17 人
	6年生	6 人	2 人	6 人	7 人
	合計	92 人	152 人	154 人	150 人
差異（実績-計画）		▲58 人	2 人	4 人	0 人

実施箇所数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実 績	4 か所	4 か所	4 か所	4 か所

(3) 基本目標ごとの関連事業の実施状況

**基本目標1 すべての子どもと家庭への支援**

【主な事業・取組の実施状況】

母子健康手帳の交付（子育て支援課）				
概要	妊娠届出のあった妊婦について、妊婦と出生児の一貫した健康記録を記載する母子健康手帳を交付します。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
交付件数	52件	38件	56件	43件

妊婦への保健指導・栄養指導（子育て支援課）				
概要	母子健康手帳交付時等に、妊娠中の保健及び栄養に関する指導を保健師及び栄養士が実施します。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
交付件数	52件	38件	56件	43件

乳幼児健診（子育て支援課）				
概要	こどもの成長や運動発達の状況、病気や異常の有無等を確認すると共に、児及び保護者との面談を実施します。			
3～4か月児健診				
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診者数	53人	48人	46人	61人
受診率	98.1%	100.0%	97.8%	95.3%
7～8か月児健診				
受診者数	43人	54人	53人	60人
受診率	91.4%	94.7%	100.0%	98.3%
1歳児健診				
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診者数	39人	53人	60人	51人
受診率	84.7%	100.0%	100.0%	96.2%
1歳6か月児健診				
受診者数	60人	42人	54人	57人
受診率	98.3%	100.0%	94.7%	100.0%
3歳児健診				
受診者数	27人	54人	57人	56人
受診率	96.4%	72.9%	96.6%	98.2%

### 第3章 第2期計画の実施状況及び本村の課題

妊婦歯科健診無料受診券の配布（子育て支援課）				
概要	妊娠中、つわりやホルモンの影響でむし歯や歯周病が進みやすくなり、歯周病は早産の一因となることなどから、妊婦の口と歯の健康のために無料受診券を妊娠届出時に配布します。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診者数	13人	13人	9人	8人

むし歯予防事業（フッ素塗布事業）（子育て支援課）				
概要	1歳から就学前までの幼児に対し、むし歯予防のためのフッ素塗布が無料で受けられる受診券（上限12回）を保護者の希望に応じて交付します。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用人数	62人	96人	59人	87人

歯っぴい健診（1歳児健診）、1歳6か月児健診、3歳児健診（子育て支援課）				
概要	こどもの成長や運動発達の状況、病気や異常の有無等を確認すると共に、児及び保護者との面談を実施します。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1歳児健診 むし歯有病率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1歳6ヶ月児健診 むし歯有病率	6.7%	2.4%	0.0%	0.0%
3歳児健診 むし歯有病率	14.8%	29.6%	5.3%	23.2%

要保護児童対策会議（子育て支援課）				
概要	要保護児童の早期発見やその適切な保護及び配偶者からの暴力防止を図るために対策会議を設置します。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開催回数	21回	13回	4回	8回

保育料の減免措置（子育て支援課）				
概要	地震等の災害で被災した世帯に対する減免及びコロナ感染症による登園自粛を減免します。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
減免件数	53件	45件	110件	0件

ひとり親家庭医療費助成（住民福祉課）				
概要	ひとり親家庭に対し、医療費の一部負担金の3分の2を助成します。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
助成件数	838件	616件	650件	707件

児童扶養手当（住民福祉課）				
概要	父又は母と生計を同じくしていない児童が育成されるひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進に寄与するため、当該児童について手当を支給し、児童の福祉の増進を図ります。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支給世帯数	84世帯	80世帯	82世帯	72世帯

巡回相談支援事業（住民福祉課）				
概要	相談員が保育所等を巡回し、困り感があるこどもについての関わり方についての助言等を行うと共に、必要に応じて療育及び育児相談につなげます。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
相談件数	18件	18件	19件	25件

## 基本目標2 地域全体による子育て支援

### 【主な事業・取組の実施状況】

放課後子ども教室（教育委員会）				
概要	小学1、2年生を対象に、放課後の空き教室を利用し、こどもが安心して活動できる場の確保を図り、地域の方の参画を得て、こどもたちに季節ごとの制作や昔あそびなど、多様な活動を行います。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用人数	130人	95人	80人	78人

子ども会（教育委員会）				
概要	村及び各行政区の単位子ども会がこどもたちに対する体験事業を実施。村の子ども会としては姉妹都市連携をしている新上五島町との育成キャンプや村子ども会大会を開催し、こどもたちが普段できない体験活動を行っており、令和4年度からは熊本県立高森高等学校と連携しています。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
参加人数	216人	242人	207人	239人

### 第3章 第2期計画の実施状況及び本村の課題

こども会大会（教育委員会）				
概要	子ども会大会として村内小学生を対象に体験事業を実施。令和2年度から令和3年度についてはコロナで中止していたが、令和4年度からは熊本県立高等学校の生徒を講師として、企画運営をお願いし大会を実施しています。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
参加人数	0人	0人	8人	10人

育成キャンプ（教育委員会）				
概要	姉妹都市提携を結んでいる長崎県新上五島町の子ども会と毎年実施している事業。隔年ごとで開催をしており、南阿蘇村と新上五島町で交互に実施しており、南阿蘇村ではトレッキングなどの自然の体験、新上五島町では海洋体験を実施しています。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
参加人数	0人	0人	21人	24人

小学校親睦スポーツ大会（教育委員会）				
概要	村内の小学6年生を対象に、中学校入学前の生徒同士の交流と親睦を深める場として、親睦スポーツ大会を実施しています。ティーボールやモルックなどのニュースポーツを主に行っており、今後も引き続き継続していきます。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
参加人数	0人	0人	24人	78人

中学校におけるスクールカウンセラー配置（教育委員会）				
概要	南阿蘇中学校に、非常勤のスクールカウンセラー2名の派遣を熊本県から受けており、児童、生徒、保護者へのカウンセリング、教職員に対する助言などを行っています。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
派遣人数	2人	2人	2人	2人

防犯パトロール隊（総務課）				
概要	パトロール隊は、安心・安全なむらづくりを目指して、村民の防犯意識の高揚と普及の徹底を図り、正しい防犯の実践を習慣づけ、南阿蘇村地域の住民を各種犯罪から守るとともに、青少年の非行を防止することを目的として活動しています。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
設置数	4支部 30人	4支部 29人	4支部 36人	4支部 29人

チャイルドシート購入費助成（子育て支援課）				
概要	幼児の交通事故防止及び交通安全の確保に資するため、乳幼児補助装置の購入に要する経費を補助します。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
助成件数	37件	43件	47件	44件

### 基本目標3 子どもの心の豊かさ、たくましさを、たくましさを育む

#### 【主な事業・取組の実施状況】

家庭教育講座（教育委員会）				
概要	保護者の子育てに対する悩みや不安の解消のために「親の学び」プログラムとして熊本県から学校や保育園といった団体に対してトレーナーの派遣を行っています。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開催回数	2回	1回	1回	3回

南阿蘇村学習支援員（教育委員会）				
概要	南阿蘇村学校支援員を各校に配置しています。学級担任及び教科担任等教科担任等の補助として授業に入り、個に応じた学習・生活のサポート等を行っている。今後も継続して実施し、授業・指導等の充実を図ります。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
配置人数	12人	12人	12人	12人

交通安全指導員（総務課）				
概要	交通安全指導員は、住民に対する交通安全思想の普及啓発活動及び村内の通学、通園路における学童、園児を重点に歩行者の保護誘導等の街頭活動を通じ、正しい交通ルールの励行を指導しながら、交通事故の防止に努めることを任務として活動しています。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
設置数	5支部 57人	5支部 57人	5支部 55人	5支部 55人

その他本村で実施した主な事業・取組

児童手当（子育て支援課）				
概要	「家庭等における生活の安定」及び「次代の社会を担う児童の健やかな成長に資すること」を目的とした制度です。支給額は、3歳未満は月額15,000円、3歳以上小学校終了前までは月額10,000円（但し、3子目以降は15,000円）、中学生は月額10,000円、特例給付は月額5,000円。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支給件数	11,361件	11,081件	10,654件	10,541件

すこやか出産祝い金（子育て支援課）				
概要	新生児が誕生した日に住所を有し、かつ居住している期間が連続して1年以上経過している場合に支給します。支給額は、第1、2子が50,000円、第3子以降が100,000円。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支給件数	49件	33件	40件	35件

乳幼児・子ども医療費助成（子育て支援課）				
概要	南阿蘇村に住所を有し健康保険に加入している0歳から18歳までの子どもが対象。対象となる医療費は各種健康保険適用の一部負担金。ただし、入院食事療養費及び交通事故により第三者からの賠償として支払われる医療費は対象外です。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
助成金額	27,317,143円	29,750,334円	33,850,356円	38,025,191円

すこやか成長祝い金（子育て支援課）				
概要	第3子以降の子どもを南阿蘇村で出産し、かつ子どもが満3歳に到達する年度まで南阿蘇村に継続して在住していた場合に支給します。支給額は200,000円。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支給件数	10件	17件	7件	14件

給食費半額補助（教育委員会）				
概要	保護者の経済的な負担の軽減と子育て支援を目的として、給食費の半額を補助します。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
補助金額	31百万円	15百万円	14百万円	14百万円

### 第3章 第2期計画の実施状況及び本村の課題

就学援助（教育委員会）				
概要	経済的な理由により就学困難な児童及び生徒の保護者に対して、学用品費等の補助を行います。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象児童生徒数	44人	58人	50人	47人

ランドセル支給（教育委員会）				
概要	新入学児童を対象に、入学祝いとしてランドセルの贈呈を行います。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支給件数	81件	70件	64件	63件

通学かばん支給（教育委員会）				
概要	新入学生徒を対象に、入学祝いとして通学カバンの贈呈を行います。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支給件数	84件	81件	77件	83件

奨学資金利子補給（子育て支援課）				
概要	教育資金を借入れた保護者に対し、当該学生の在学期間中の返済利子について年5万円を上限に補助します。（令和3年度末に廃止、令和4年度以降は経過措置）			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
補給件数	7件	8件	8件	4件

快速南郷ライナー定期券助成（教育委員会）				
概要	熊本地震により被災し、運休している南阿蘇鉄道の運賃と代替として利用する南郷ライナーの運賃の通学費の差額を補助します。（高校生）			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
減免件数	26件	0件	0件	0件

母子栄養食品助成事業（子育て支援課）				
概要	住民税非課税世帯又は均等割のみ課税世帯に対し、1歳までのミルク購入費用を月1缶分助成します。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
助成世帯数	3世帯	2世帯	2世帯	1世帯

### 第3章 第2期計画の実施状況及び本村の課題

ブックスタート（子育て支援課）				
概要	絵本を通じた親子の絆づくり等のため、7か月児健診時に絵本のプレゼントと読み聞かせを実施します。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
配布件数	40件	55件	53件	61件

多子世帯支援事業（子育て支援課）				
概要	熊本県が独自に、高校生以下から数えて3人目の子供の保育料を無料にしている事業です。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
助成件数	19件	17件	15件	26件

このとおり支援事業（子育て支援課）				
概要	こどもを望む夫婦の不育・不妊治療にかかる医療費について、夫婦1組につき年度20万円を上限に助成します。			
実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
助成組数	8組	5組	4組	4組

## 2 本村の課題

こども・若者に関するデータ及び各種アンケート調査の結果から、本村における主な課題を抽出しました。

### (1) 少子化対策

本村の出生数は近年減少傾向で推移しており、令和4年は39人となっており、合計特殊出生率は、全国、熊本県平均より高い値ではあるものの平成30年から令和4年までの平均が1.70となっており、令和7年度以降の少子化の進行は進むものと予想されます。

少子化の背景には、未婚・晩婚化、経済的な不安定さ、男女の仕事と子育ての両立の難しさ、家事・子育ての負担が女性に偏っている状況、出会いの機会の減少、若者の人口流出など、様々な要因が複雑に絡み合っています。対策は容易ではありませんが、結婚や出産、子育てに関する一人一人の希望がかなえられるよう取り組む必要があります。

### (2) 子育てしやすいむらづくり

村の子育て支援の満足度について、「満足」と回答した人の割合は、就学前児童保護者14.9%、小学生保護者23.3%なのに対して、「不満足」と回答した人の割合は、就学前児童保護者27.6%、小学生保護者25.4%となっています。

村に求める子育て支援策としては、経済的支援やこどもが遊ぶことができる場所の提供、こどもの医療体制の整備が高くなっています。

子育てしやすいむらを目指して、こどもや子育て世帯への支援を総合的に充実させていく必要があります。

### (3) 相談支援体制の充実

子育てに関して気軽に相談できる人が「いる」と回答した人の割合が就学前児童保護者80.9%、小学生保護者91.1%である一方、「いない」と回答した人の割合が就学前児童保護者4.3%、小学生保護者8.2%となっています。

こども・若者調査では、孤独であると感じることが「しばしばある・常にある」と回答した人の割合が3.6%となっています。また、「ほとんど外出しない」と回答した人の割合が5.4%となっています。

困りごとが起こった時に、相談できる人がいない保護者や孤独を感じている人、ほとんど外出しない人を相談支援に確実につなげていく必要があります。また、身近に相談できる人がいる場合でも、その人たちとのつながりが絶たれた場合を考慮し、相談窓口の受け皿を準備しておくことも重要です。

#### (4) 幼児期までのこどもの育ちの支援

国の「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン」にあるとおり、乳幼児期は、こどもの生涯にわたるウェルビーイング<sup>\*</sup>の基礎を培い、人生の確かなスタートを切るために最も重要な時期です。全てのこどもが質の高い幼児教育・保育を受けることができるよう取り組む必要があります。

#### (5) 妊娠前から子育て期までの切れ目のない支援

核家族化の進展、地域のつながりの希薄化など、家庭を取り巻く環境が変化する中で、祖父母や近所の人から子育て等に関する助言や支援を受けることが難しくなっています。こどもが病気やケガ等で保育所等を休んだ場合の対処方法については、「親族・知人にこどもをみてもらった」と回答した人の割合は28.8%で約3割にとどまっています。

令和6年4月に開設した「こども家庭センター『みなっこ』」を中心として、関係機関の連携のもと、妊娠前から子育て期まで切れ目なく相談支援を行い、全ての人が安心して妊娠・出産・子育てができるよう取り組む必要があります。

#### (6) 仕事と子育ての両立支援

こども・若者調査では、育児を支援する施策として「企業のワーク・ライフ・バランスを促進する政策を充実させること」と回答した人の割合が3割を超えていました。核家族世帯、共働き世帯が増加し、仕事等の理由で、こどもを自宅でみることのできない場面が増えています。家事・育児の負担が、依然として女性に偏っている現状も踏まえ、一時預かりや病児保育など、保護者の実態とニーズに合わせた一時的保育等関連サービスの充実に取り組む必要があります。

#### (7) ひとり親家庭への支援

中学生保護者調査では、貧困の課題を抱えていると思われる世帯「(等価世帯収入の)中央値の2分の1未満の世帯」の割合は、母子世帯においては71.4%と高くなっています。仕事と子育てを一手に担わざるを得ないひとり親家庭は、いわゆる「時間の貧困」にも陥りやすいと言われています。それぞれの世帯に寄り添った相談支援を行い、生活支援や就労支援等、最適な支援につなげていく必要があります。

#### (8) 出合いや結婚への支援

こども・若者調査では、「結婚・同棲・恋人はいずれも、必ずしも必要ではない」が53.3%で、全国結果と比較し14.3ポイント上回っています。一方、「結婚はした方がよい」が29.9%で、全国結果と比較し14.3ポイント下回っており、結婚や同棲に対して必要性を感じていない方が多い結果となっています。

結婚生活について不安に感じることについては、「結婚生活にかかるお金」が43.1%で最も高くなっています。

若者が自らの結婚に関する希望をかなえることができるように、出会いや結婚への支援をより推進していく必要があります。

#### (9) こどもの貧困対策

中学生保護者調査では、貧困の課題を抱えていると思われる世帯の割合は、全体で21.2%、母子世帯においては71.4%となっています。家庭の経済状況は、こどもの進路選択や家庭環境にも影響を及ぼしている可能性があります。調査結果では、世帯の収入の水準が低くなると、大学までの進学を希望する割合も低くなる傾向がみられました。また、経済的な理由で「食費を切りつめた」、「必要な服や靴を買えなかった」などと回答した人の割合が、貧困の課題を抱えていると思われる世帯において高くなっています。

貧困と、その次世代への連鎖を断ち切るため、教育の支援や生活の安定のための支援に取り組む必要があります。

#### (10) 障がい児等への支援

国が2014年に批准した「障害者の権利に関する条約」やこども基本法の理念を踏まえ、障がいのあるこども・若者や発達に特性のあるこども・若者について、それぞれの特性や状況に応じた支援を行うとともに、特別な支援を要するこどもと他のこどもと一緒に教育・保育を受けることができる、インクルーシブ教育・保育<sup>\*</sup>の体制づくりを推進していく必要があります。

障がい児等への支援を推進することによって、「障がいのあるこども・若者、発達に特性のあるこども・若者の地域社会への参加・包容が推進されている」と思う人の割合（現状値30.2%）を高めていきます。

#### (11) こども・若者や子育て世帯の意見反映

こども基本法において、こどもの意見表明権と意見の尊重は基本理念とされており、地方公共団体は、こどもに関する施策を策定・実施・評価する際には、当事者であるこども・若者や子育て世帯の声を聴き、反映させることが義務付けられています。本村においては、こどもや若者を対象とした調査を実施し、当事者の状況把握を行いました。また、令和6年12月7日に小学生から高校生までを対象としたワークショップを開催し、意見聴取を行いました。

一方で、「こども政策に関して自身の意見が聴いてもらえている」と回答した人の割合は、17.7%と低くなっており、こどもの意見表明権について、広く周知・啓発に努めていく必要があります。